広報
さめがわ

昭和60年
4月号
No. 376
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所

むらおこしの拠点となれ！農業技術指導センター



新農業構造改善事業で計画され、昨年から建設が進められていた農業技術指導センターが完成し、4月1日から業務が開始されました。

この施設は、産業の指導や普及に係る諸機関が、ともに力を協せて、総合的効率的な指導、相談、普及、研修等の成果をあげようとするものであります。

ここ数年、気象災害や内外の圧力で、不振傾向にあった地域産業界に大きな活力を呼び起す、むらおこしの拠点となることを期待したいものです。

4月1日～30日　河川美化月間
5月1日～31日　自転車安全利用推進月間
5月10日～16日　愛鳥週間

今月の人口
（4月1日現在）

		前月比
人口	5,521	(−36)
男	2,721	(−24)
女	2,800	(−12)
世帯	1,121	(−10)

春の火災防御訓練
沼野沢・追木集落で







春の火災防御訓練が、西山の沼野沢、追木集落で実施されました。3月13日早朝5時55分に山火事発生の想定で、通報、連絡、出動、消火と短時間にテキパキと行われ、良好な成績を収めました。

写真㊤山火事の発火地点に地元の小型ポンプ、消防署のポンプ車が注水消火する。手前は、山火事などで初期消火に偉力を発揮するジェットシューター部隊の活躍。

㊥訓練が終って村長の部隊巡視。㊦村長の講評をうなづきながら聞く大勢の集落の人たち。

おはなのおみ (24)

農業技術指導センターの発足

村長　石田印子八

ふるさと産業おこし、むらおこしの運動は、いま日本の農山村に澎湃として起っている大きな潮流であります。

わが村の農業技術指導センターは、この運動の一拠点となるべき使命をもって、四月一日発足しました。

またこの機関は、これからの高度情報化時代に重要な役割をもつ同報無線の拠点ともなるものであります。

形の上では産業指導の中核となる村の経済課と、農業委員会、畜産センター、阿武隈指導班などが一体となって中枢を形成し、土地改良区その他の農業団体も重要な一翼となって同居することになります。

県の指導機関、農業改良普及所等も出張所的に使用することになりましょう。

住民の側からは、凡そ産業経済に関すること、地域振興に関することはすべてここで用事を足せることになり、指導、相談協議、研修など多目的な機能を発揮することが望まれるわけであります。

わが村の産業構造は、今後も第一次産業が第二次、第三次産業へ相当の速度で移動することが考えられますが、第一次の農林業が基盤であることには変りがなく、農林業を基盤とした工業、農林業を基盤にもつ商業、サービス業が発展の可能性を大きく持つことはいうまでもありません。

従って農業技術指導センターは、狭義の農業に固執するものではなく、広く地域産業構造の全体的な振興と発展を目標とするものであります。

またその指導や研修は現地に即することを本旨とすべきであって、現地指導、実地研修こそ重要な業務手段となるべきであります。

建物は、公民館隣、旧文化センター跡に新農業構造改善事業による国庫補助を得て建築され、清楚で親しみやすく設計されております。

福島県では初めての企画であるこの農業技術センターがよく住民の信頼と期待に応えて、地域産業振興の成果をあげることを心に銘じて努力したいものであります。

心あたたまる寄附

●大字西山字辺栗　生田目旭様
亡父（政一）の遺志により　三万円

●大字赤坂東野字官代　前田英雄様
亡父（正男）の遺志により　五万円

●大字赤坂西野字大塩　岡部千代喜様
亡父（慶治）の遺志により　三万円
（鮫川村社会福祉協議会）

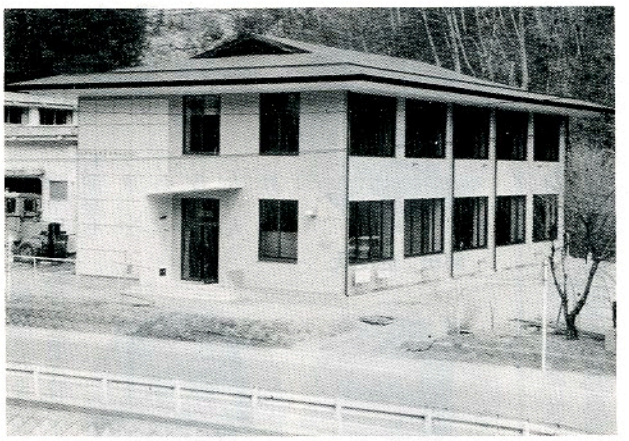
心配ごと相談

4月22日（月）
午前10時 ～ 午後2時
山村開発センター

村の指導機関がすべて入所

―4月1日から業務開始―

福島県では初めての農業技術指導センター完成



▲立派に完成した農業技術指導センター

この建物は、新農業構造改善事業で昨年九月から工事が進められていたもので、鉄筋コンクリート二階建。総事業費約七、五七〇万円で、旧文化センター跡地にこのほど完成したものです。

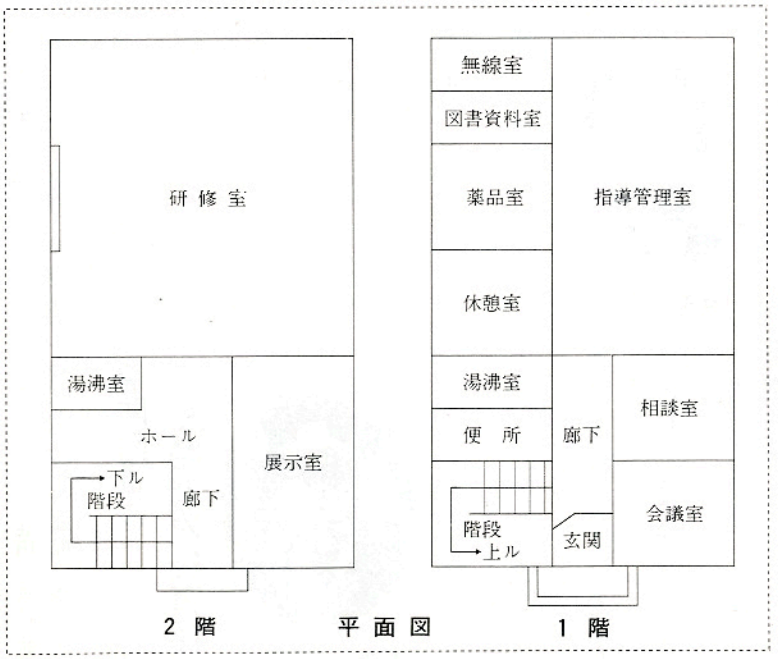
センターには、経済課、農業委員会、畜産センター、阿武隈指導班、土地改良区が入所し、そのほか農業改良普及所その他の県機関が出張所的に使用することになっており、四月一日から業務が開始されました。

これらの指導機関が連携をとりながら指導態勢を強化し、センターに行けば農業関係については何でも一度に相談できることになります。また、総合的な農業技術の研修が容易にでき、その効果が期待されます。

今年度は同報無線を設置

センターの施設は、指導員が指導事務をとる指導管理室、住民の個別相談に応じる相談室、各農業関係組合・団体の集会、研修の場となる研修室、畜産関係の倉庫薬品室、村内に多数保管されている民具、農具等を陳列しておく展示室などがあります。

また、無線による連絡や農業技術指導を一斉に行う無線室も設けられています。この同報無線は、今年度計画されている新農構事業で年度内に設置される予定になっています。



村の産業構造

―急速な変ぼう続く―

村の産業構造は、昭和五五年国勢調査の結果によると、就業者は三、〇一九人で、その構成は第一次産業一、六二四人、第二次産業が七八八人、第三次産業が六〇七人になっています。

第一次産業の就業者の占める割合は、昭和二五年の八八・三パーセントからその後引続き急速な減少を続け、三五年には八三・七パーセント、四五年に七三・一パーセントとなり、五五年には五三・八パーセントに低下しました。

この流れは全国的な動きでもあり、五五年の全国平均は一〇・九パーセント、福島県平均でも二〇パーセントと低い状況にあります。

このように第一次産業は全国的規模で減少しているものの、鮫川村においては依然最も重要な産業であり、第二次第三次産業の基盤になっております。

助役に坂本恵司氏再任



坂本　恵司氏

村の助役に四月一日付で坂本恵司氏（六〇）が再任されました。

坂本さんは昭和五二年に助役に就任し、既に二期（八年間）勤められ、このたび議会の同意を得て再任されたものです。

任期は昭和六四年三月三一日までの四年間です。

新しい区長さんら決まる

4月1日 辞令交付

四月一日付で新しい区長・区長代理・保健委員さんが、議会の同意を得て選任されました。

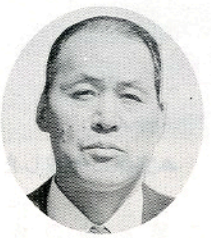
辞令交付式は午前九時から山村開発センターで行われ、村長から一人一人に辞令が手渡されました。



前田　勝男氏



坂本　行正氏



矢吹　一二氏



山形　美保氏



根本　弘氏



岡部　文雄氏



高木　勝美氏

任期は昭和六二年三月三一日までの二年間で、行政と住民のパイプ役として活躍が期待されます。

【区　長】

◇赤坂西野区　矢吹　一二（再）
◇西　山　区　根本　弘（新）
◇赤坂中野区　高木　勝美（新）
◇赤坂東野・石井草区
　前田　勝男（新）
◇富　田　区　坂本　行正（新）
◇渡　瀬　区　山形　美保（新）
◇青　生　野区　岡部　文雄（新）

【区長代理】

◇赤坂西野区　須藤　照司（再）
◇西　山　区　関根　英也（新）
◇赤坂中野区　大河内　平（新）
◇赤坂東野・石井草区
　鈴木　長一（新）
◇富　田　区　松本　好雄（新）
◇渡　瀬　区　国井鬼子治（新）
◇青　生　野区　中島　唯男（新）

【保健委員】

◇赤坂西野区　緑川多気志（新）
◇西　山　区　大竹　貞雄（新）
◇赤坂中野区　金沢　正雄（新）
◇赤坂東野・石井草区
　遠藤　稲穂（新）
◇富　田　区　生田目定之助（新）
◇渡　瀬　区　蛭田　康之（新）
◇青　生　野区　岡部　勝正（新）

消防団長に 松崎清次氏再任



松崎　清次氏

四月一日付で消防団長に松崎清次さんが再任されました。松崎さんは県消防協会東白川支部長を兼ねており、このたび団の推せんにより村長から任命されたものです。

副団長、分団長は次のとおりです。

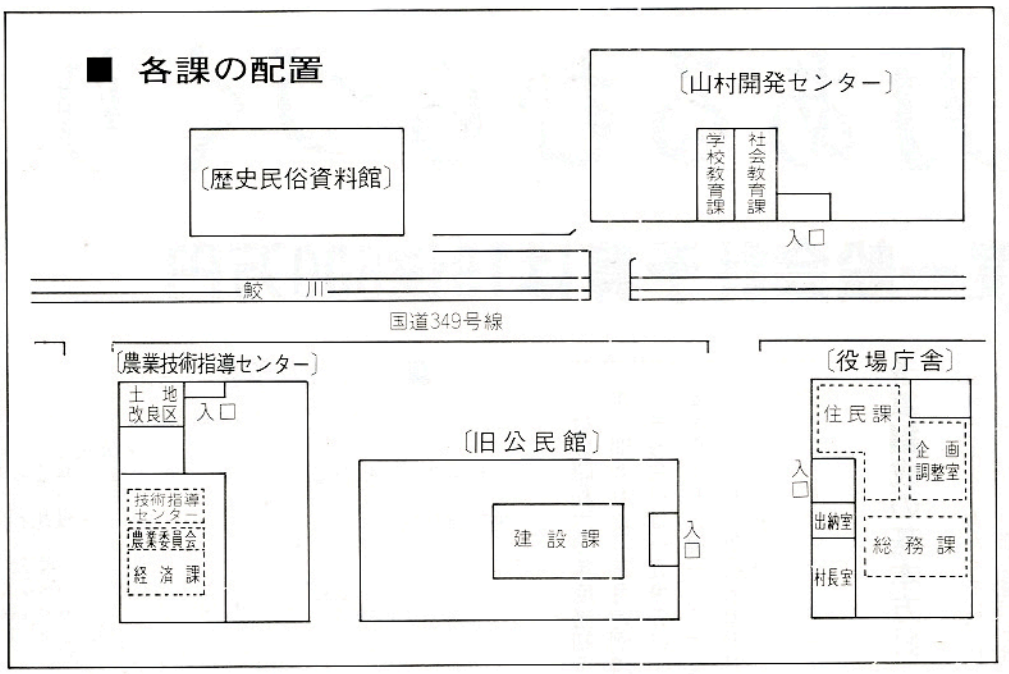
◇副団長▽岡部傅◇副団長▽須藤泰助◇第一分団長▽鈴木辰男◇第二分団長▽石井隆夫◇第三分団長▽生田目利夫◇第四分団長▽蛭田栄次◇第五分団長▽前田武久◇第六分団長▽松本恵治◇第七分団長▽大森光枝

村職員人事

行政組織の一部見直しの結果、四月一日付で村長部局に農業技術指導センターが新設され、畜産センター、阿武隈指導班が統合、建設課の計画係が用度係に名称変更されました。

また、これに伴い課等の配置替え及び職員の人事異動が幅広く行われました。職員の人事は次のとおりです。

◇**退職**▽青戸学男（建設課）
◇**異動**▽歴史民俗資料館長兼務（教育次長兼学校教育課長）矢吹義照▽農業技術指導センター所長兼経済課長兼農業委員会事務局長（企画調整室長）蛭田三夫▽農業技術指導センター次長（畜産センター所長）中井光徳▽西山児童館長兼務（鮫川保育所長）芳賀栄郎▽企画調整室長（建設課長）前田守保▽農業者トレーニングセンター所長兼務（社会教育課長兼公民館長兼山



村開発センター所長）鈴木英亮▽住民課長兼さぎり荘所長兼母子健康センター所長）関根武捷▽住民課長補佐（幼稚園長）添田剛弘▽幼稚園長（農業委員会事務局長）前田三郎▽建設課長補佐（道路管理センター所長）金沢省道▽経済課農政係長兼務（同経済係長兼務）高坂幸男▽住民課保健係兼福祉係兼母子健康センター係（総務課税務係）斉藤美津江▽診療所事務長（経済課農政係長）白坂利幸▽用度係長（計画係長）須藤幸子▽経済係長（経済課経済係兼農業者トレーニングセンター）赤坂博男▽企画調整室（診療所）鈴木治男▽総務課総務係兼議会兼監査委員会（住民課戸籍住民係）柿沼美津恵▽住民課戸籍住民係（総務課総務係兼議会兼監査委員会）本郷まさ子▽総務課税務係（住民課保健係兼福祉係）芳賀亨▽建設課用度係（住民課保健係）本郷秀季▽経済課経済係兼農政係（同農政係）小松毅▽農業技術指導センター（畜産センター）森洋▽同（同）佐藤文夫▽青少年の家兼務（社会教育主事）石井哲▽社会教育課兼務（トレセン主任技能員）高木市郎▽歴史民俗資料館用務員兼務（開発センター用務員）窪木マサ子

◇**新採用**▽鈴木守弘（農業技術指導センター）

◇**嘱託員**▽田子澄江（住民課）▽須藤カヨ（同）▽本郷栄治（建設課）▽石井智子（総務課）▽吉田文子（同）▽鈴木重隆（企画調整室）▽関根洋子（西山児童館）▽赤坂義郎（さぎり荘）▽下重三男（同）▽水野京子（幼稚園）

◇**任命**▽社会教育指導員　北條平

教職員人事

【転入】◇青生野小教諭（湯本一小）千葉宗平▽同教諭（白河第三小）中島済州▽佐藤真理子（新採用）▽同教諭（常豊小）秋山喜久男▽同事務職員（新採用）角田尚一◇渡瀬小教頭（平野小教諭）戸井田健▽同教諭（関岡小）瀬谷八州▽同教諭（福島第三小）佐藤正夫▽同養護教諭（新採用）芳賀玲子▽同養護教諭（新採用）渡部淑子◇富田小教頭（白河第三小教諭）矢部滋人▽同教諭（新採用）遠藤邦雄◇西野小事務職員（新採用）熊耳優子◇西山小教頭（白河第一小教諭）大楽睦彦▽同教諭（江名小）磯豊子◇鮫川小教頭（富田小教頭）小松幹夫▽同教諭（宮下小）近藤真由美▽同教諭（富田小教諭）緑川正昭▽同教諭（新採用）加藤正行◇鮫川中教頭（三穂田中教諭）佐藤信義▽同教諭（久之浜中）藤田充▽同教諭（新採用）渡辺忠

【転出】◇平第三小教頭（青生野小教諭）中根孝雄▽白河第一小（同教諭）面川三雄▽高田小（同教諭）鈴木敬子◇高城小教頭（渡瀬小教頭）近藤明▽浪江小教頭（同教諭）佐藤英男◇鮫川小教頭（富田小教頭）小松幹夫▽同教諭（同教諭）緑川正昭▽汐見丘小（同教諭）吉田尚▽中野小（同事務職員）鈴木伸子◇大屋小（西野小事務職員）今野恵子▽石井小（西山小教頭）下重富保▽新地小（同教諭）佐々木洋美▽常豊小（鮫川小教頭）二瓶正夫▽泉崎一小（同教諭）藤田昭子▽白河第三小（同教諭）角田俊文▽同（同教諭）佐々木治◇会津少年自然の家（鮫川中教頭）酒井不二男▽白河中央中（同教諭）松本市郎▽同（同教諭）鈴木尚秀

【退職】▽西野義久▽川音千代吉

警察官人事

◇転入▽鮫川駐在所（会津若松警察署下荒井駐在所）吉津　等

◇転出▽川俣警察署飯野駐在所（鮫川駐在所）三浦秀夫

消防署人事

◇転入▽鮫川分署長（白河消防本部）添田春男

◇転出▽矢吹消防署次長（鮫川分署長）熊田義次

活力あるむらづくり

60年度一般会計予算は19億500万円

村の昭和六〇年度当初予算が、三月六日から一二日まで開かれた「三月定例議会」で決まりました。

一般会計は一九億五〇〇〇万円、国民健康保険会計・事業勘定が三億一、八六九万六千円、直診勘定が五、一二〇万円、簡易水道会計が七四九万一千円、老人保健会計が一億五、八〇一万四千円で、予算の総計は二四億四、〇四〇万一千円となりました。

予算編成の基本方針

予算の編成にあたっては、慎重な現状分析と的確な選択を旨とし、事務事業の一層の効率化、機構の合理化、施策事業の緊急度に基づき、重点選別主義を更に徹底されました。

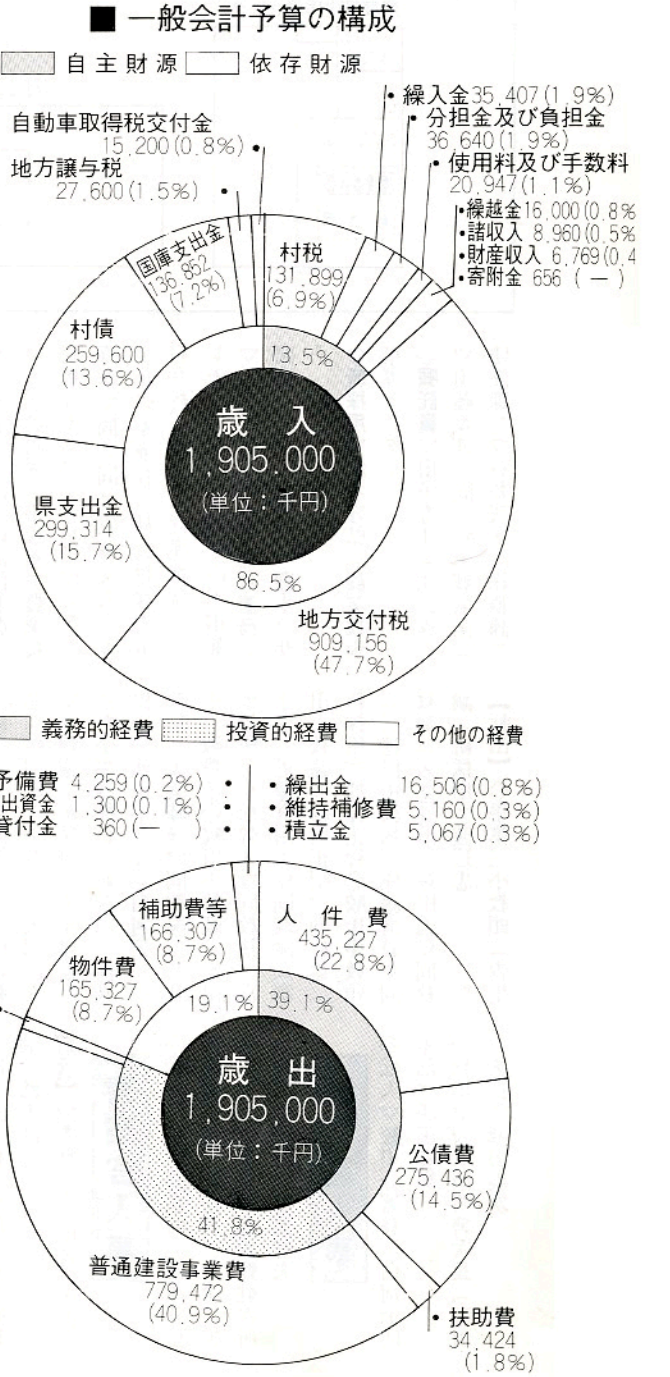
そして明るく豊かに活力に充ちた文化の香り高い村づくりを目標として、創意と工夫を重ね努力することを方針としております。

歳入予算の状況

歳入予算の構成はグラフのとおりで、村税等の自主財源は前年度なみの二億五、七二七万八千円で、予算総額に占める割合は一三・五パーセントとなりました。

地方交付税、国県支出金、村債等の依存財源は一六億四、七七二万二千円で、総額に占める割合は八六・五パーセントとなりました。内訳は地方交付税が七・八パーセント伸び、国庫支出金が一三パーセント減、村債が二〇・四パーセント増、計で前年度より三・六パーセントの増となりました。

■ 一般会計予算の構成



■ 特別会計予算

国民健康保険(事業勘定)	3億1,869万6千円
国民健康保険(直診勘定)	5,120万円
簡易水道事業	749万1千円
老人保健事業	1億5,801万4千円
計	5億3,540万1千円

明るく豊かな

昭和60年度・歳出予算と主な事業

単位：千円

議会費〔41,224〕
〔議会活動費 1,677〕

総務費〔191,683〕
〔庁舎等維持管理 5,598〕〔広報紙・村勢要覧発行 4,066〕〔行政区対策 8,312〕〔施設管理 7,439〕〔財産台帳整備 2,292〕〔防犯対策 1,093〕〔納税奨励活動 2,733〕〔統計調査 1,328〕

民生費〔155,621〕
〔住民福祉（社会福祉協議会設立） 1,000〕〔お母さんお嫁さんに感謝する会 547〕〔重度心身障害者医療扶助 3,654〕〔国民年金保険料完納奨励 964〕〔在宅老人福祉 521〕〔敬老会 1,574〕〔敬老年金支給 1,251〕〔さぎり荘運営 6,981〕〔児童手当給付25,671〕〔母子福祉 1,205〕〔鮫川保育所運営41,089〕〔渡瀬保育所運営29,997〕児童館運営11,938〕

衛生費〔39,677〕
〔母子保健 659〕〔乳児医療 1,679〕〔予防接種 1,255〕〔結核予防 1,158〕〔住民健康診査 5,635〕〔ごみ・し尿処理（衛生処理組合負担金） 17,256〕

労働費〔30,045〕
〔失業対策 16,155〕

農林水産業費〔613,181〕
〔農業委員会活動 1,178〕〔新地域農業生産総合振興対策事業 3,746〕〔農作業安全対策推進事業 1,202〕水田利用再編対策推進 1,303〕〔転作基盤合理化促進事業（パイプハウス・サイロ設置） 12,070〕〔新農業構造改善事業（同報無線設置） 102,654〕〔農村地域農政総合推進事業 3,302〕〔第三期山村振興対策事業（夜間照明、農道整備＝赤柴地区） 51,287〕〔農業技術指導センター運営 1,283〕〔山村開発センター運営 12,575〕〔農業者トレーニングセンター運営 9,210〕〔村有牛貸付14,000〕〔家畜導入 5,290〕〔自給飼料生産振興対策事業（採草地・飼料畑造成、農業機械購入） 22,529〕〔農道整備（上大塩、真坂、石井草、大房、内ケ竜地区） 46,300〕〔地籍調査（上、前折戸、仁田、滝、鶏割地区） 10,816〕〔新間伐促進総合対策事業 5,038〕〔松くい虫防除 590〕〔林業振興事業（林道整備＝高岩線・戸倉線・前沼線、治山＝鍬木田・上大塩地区、作業道整備） 55,435〕〔林業総合整備事業（林道整備＝大戸中松倉線、東前田線、下線） 119,713〕

商工費〔8,839〕
〔商工業振興 2,698〕

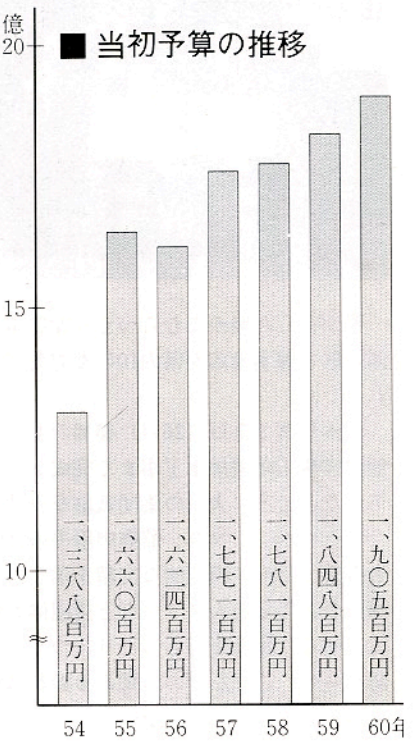
土木費〔239,229〕
〔道路台帳整備 19,000〕〔村道整備（新宿古殿線、赤柴線、菅ノ目浅川線、官沢余所内線、田尻関口線、岫長塩倉線、村民運動場線、名下滝線） 163,608〕〔国県道県営事業 20,000〕

消防費〔73,344〕
〔消防施設整備（防火水槽３基、小型動力ポンプ２台、小型動力ポンプ積載車１台、ポンプ置場＝岩野草） 11,600

教育費〔232,462〕
〔教育委員会活動 1,116〕〔教職員住宅取得 7,566〕〔小中学校管理 30,067〕〔スクールバス購入13,000〕〔小中学校就学援助 1,054〕〔小中学校教材整備 2,900〕〔幼稚園運営23,271〕〔社会教育委員等活動 1,143〕〔成人式 563〕〔公民館各種教室 1,496〕〔歴史民俗資料館運営 3,111〕〔青少年の家管理 905〕〔保健体育活動 2,181〕〔青少年広場造成49,885〕〔学校給食センター運営35,010〕

公債費〔275,436〕
〔元金償還 159,794〕〔利子償還 115,642〕

予備費〔4,259〕



歳出予算の状況

歳出予算の構成はグラフのとおりで、住民の快適な環境づくりと、くらしを守る普通建設事業の拡大に努めました。

内訳は義務的経費が七億四、五〇八万七千円で構成比は三八・七パーセント、投資的経費は七億九、五六二万七千円で四二・八パーセント、その他の経費は三億六、四二八万六千円で一八・五パーセントになりました。

主な特徴としては、公債費が七・七パーセント伸びていますが、これは地方交付税の増でカバーされます。また、災害復旧事業が前年度で終了したため災害予算がなくなり、その分普通建設事業費が伸びています。補助費等は、農林水産業の補助事業関係で一四・四パーセント伸びています。

君の未来 緑の地球

'85国際森林年

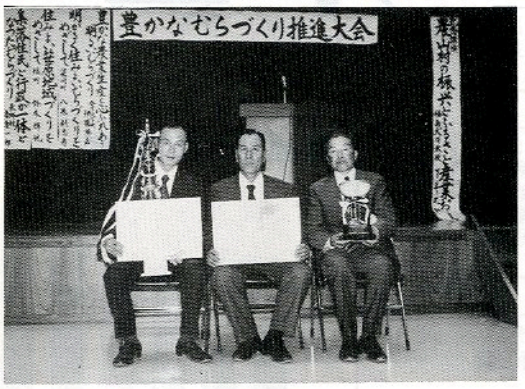
森林のもつ働きが見直されています。空気を浄化する、水源を守る、山崩れや洪水を防ぐ…こうした働きに加え、最近はレクリエーションと健康増進を兼ねた〝森林浴〟などの保健休養の働きも、大いに注目されています。

ところが今、世界に目を向けると、この大切な森林が地球的規模で減りつつある、という重大な事態が起こっています。

今年（一九八五年）は「国際森林年」――世界の人々に〝緑〟の効用を呼びかけ、減少を続ける世界の森林に歯止めをかけようと、昨年一一月にFAO（国連食糧農業機関）が決議したものです。

「国際森林年」に当たり、わたしたちは何をすべきか――森林の重要性を改めて考え、〝緑〟を増やす活動を活発にしていきたいものです。

豊かなむらづくりで顕彰された塚本集落



県が行った豊かなむらづくり顕彰事業で、赤坂西野区の塚本集落が県内10の優秀集団の一に選ばれました。

塚本集落は全戸（26戸）参加のもと全農地の基盤整備事業暗渠排水工事まで完成し、もと湿田であったところに大豆の集団栽培を成功させました。

またタバコ、マユ、酪農肉用牛の経営など何れも優秀で県内に模範的な実績を示し、農事組合、婦人会青年会老人クラブなど諸団体も協力一致して、明るく豊かなむらづくりにつくしている姿が認められ、このたびの名誉ある顕彰に輝いたものであります。

松くい虫から郷土の松を守ろう

被害木の発見にご協力を

本村でも松くい虫による松の被害木が町村界、国県道沿いを中心に発見されています。

村では、被害の拡大を最小限にとどめるために、松くい虫防除事業により被害木の伐倒、駆除並びにビニール被覆を実施しております。

これは被害木を切り倒し、薬剤を散布し、ビニールでおおうことにより、被害木が森林病害虫の病巣とならないよう、マツノマダラカミキリが他の健全な松へ被害を拡大しないよう、防止するものです。

また、被害の拡大をおさえる適切な防除を実施するためには、立枯れた松、葉が黄色味を帯びて生気の衰えている松などの異常木を早期に発見し、被害の有無を確認することが必要です。

村では、月に一回棚倉林業事務所と東白川郡森林組合と合同で一斉調査を実施し、被害木の発見に努めていますが、まだ未発見の松も多数あるものと予想されます。

住民の皆さんからも、発見しだい速やかに役場経済課へ連絡されるようお願いします。

一斉調査で被害木と確認された松については、県知事より所有者に森林病害虫等防除法により駆除が命じられます。また駆除は、所有者の委任により、村が東白川郡森林組合に委託して実施することになりますのでご協力をお願いします。

年度始めでご多忙のことと存じます。

広報ありがとうございました。

小生県立図書館協議会の委員長をしておりますが、広報にものりましたように、読書活動めざましいものがあり、ご同慶にたえません。

この四月から市立図書館が開館の運びになり、運営委員の一人として利用方を促進するつもりです。

老齢の方の話をうかがったり、記録をみますと、鮫川村は昔から好学の士が多かったようで、その伝統が今でも続いているのでしょう。

視覚（但し映像のみ）人間の多くなった今日、まことにすぐれた風土が生きていることと、ご同慶にたえません。

各地からのたより

福島市　堀口　知明

献血ありがとう

三月六日村内巡回採血で、九三名の方々から献血にご協力をいただきました。

献血にご協力いただいた方々は次のとおりです。

▽津田彰夫▽小泉正倫▽赤坂かつ子▽芳賀早月▽松本セツ▽藤田則雄▽工藤敏広▽矢吹隆夫▽矢吹仁▽石井重幸▽大森茂▽山形富士子▽須藤教子▽須藤二代子▽須藤恵子▽斉藤克子▽石井フミ▽柿沼美津恵▽斉藤実▽鈴木治男▽湯座セキ子▽斉須寛一▽高坂修一▽田子澄江▽須藤カヨ▽鈴木真理子▽金沢満▽芳賀正訓▽鈴木米子▽石井哲▽舟木利次▽板谷年城▽鈴木和則▽藤田洋美▽吉田文子▽北條利雄▽鷲野谷勝男▽本郷まさ子▽芳賀亨▽松崎和代▽藤田千恵子▽大森八重子▽大竹洋子▽吉田靖子▽中川西浩子▽芳賀晴子▽緑川ひろみ▽鷲野谷真子▽我妻栄美子▽渡辺清美▽吉成令子▽緑川明美▽山形まゆみ▽森美樹▽松本光子▽生田目一宏▽白井和男▽増子紀美枝▽矢吹和浩▽生田目清栄▽藤田芳明▽吉成昌文▽遠藤一孝▽芳賀明雄▽前田博之▽根本文彦▽広瀬敬彦▽瓶子仁▽栗田健一▽小野健司▽河合ひろ美▽柳沼幸子▽鈴木伸子▽古川由紀子▽大池義圀▽樋口和典▽遠藤裕美▽金沢幸子▽鷲野谷弘行▽生田目吉康▽藤田俊美▽吉田節子▽大平啓子▽宗田うら子▽青戸義之▽高木雪広▽関根亘▽水戸道夫▽桝田裕子▽藤田一夫▽蛭田一▽生田目丈夫▽星秀子

文芸

俳句

上　高坂　蚯切

にわとこの峡いっぱいに春を告げ

反田　小山田清哲

工事小屋春の雨音きく昼餉

新宿　斉須　信子

ふきのとうかおれる庭のおまま ごと

横座　矢吹　茂

今朝の庭春雪山へ続きけり

道少田　山本五十鈴

枝々は雪被て今朝を輝かす

道少田　山本　朗史

短歌

巡ケ作　塩田　忠男

御斉所の峠をゆけばひとところ今を盛りとまんさくの咲く

越虫星　武

寒き風吹くごと梢ゆれる辺のおどろの中より小鳥の声す

広畑岡部ヒサ子

ホッカホッカの石焼いもを気にしつつ急ぎ戸を閉む女子中学生は

関口　藤田　マサ

ほの暗き空より雪が降りしきる里路をひとり中学生帰る

木之根　赤坂　義郎

春雪の積る明日は小鳥らの人家の軒に餌を求めくる

広畑　蛭田のり子

吹きつける冷たき風を気にもせず頬をそめゆく通学の児ら

名下　須藤美代子

桃の花夫とつれだち尋めゆかん日の待たるるに春の雪積む

遠ケ竜　須藤　幸子

日溜りに蕗のとうひとつ芽吹きたり土かけ待とうもう少し育てと

棚橋　関根　一好

小さき店ひと日終りて帰りつく門辺に駆け寄る幼き孫は

新宿　杉山　忠男

庭中の雪解けそめる路地々肌黒くうるおい帯なし光る

巡ケ作　鈴木　米子

風邪に臥す子の氷枕をつくりつつ休めぬ理由を聞かせ出かける

こんにちは 保健婦です

健康検診を受けましょう

人の命ほどわからないものはないといわれます。二、三日前に会ったばかりの人が、帰らぬ人となってしまう時があります。「あんなに元気がよかったのに」「そういえば、胃が痛いなんて言っていたっけ」そんな言葉を聞くことがあります。こんなことにならないためにも、少なくとも年に一回は検診を受けることが大切です。

現在、鮫川村では、循環器・胃・子宮の集団検診を行っています。病気は、早期に発見すれば、一〇〇パーセント助かるということから検診が行われるのです。

しかし、検診をうけて「要精検」と判定された人が、精密診査を受けなければ、検診を受けないのと同じことになりますから、必ず受診してください。

精密診査を受けない人の中には、一般診査の中で血圧が高いと言われたので、その後、病院へ行き血圧測定をしたところ、高くなかったのでという人がいます。

この他、精密診査を受けない人の中には「なんともないと思った」「血圧が高いだけだから」という人がいます。

なんともないというのは、自覚症状がないというだけで、身体内部の変化は、自分ではわからないものです。

精密診査は、血圧測定・検尿・心電図・眼底測定・血液検査などが行われます。この内容をみてもわかるように、血圧・肥満がひきがねになっておこる病気も調べていますので、血圧だけで安心せずに、精密診査も必ず受けるようにしてください。

精密診査の結果、「異常なし」と判定された時に、なんともなくてよかったと安心して、一年をすごしてほしいものです。

乳幼児検診について

村主催で、乳幼児検診を行っていますが、通知したときに受診できなかった場合には、棚倉保健所で受けてもらうことになりますので、通知したときに受診されるようお願いします。

農委だより

農家基本台帳の整備についてのお願い

一、農家台帳の整備の目的

鮫川村と村農業委員会では、現在、農家基本台帳の整備を行なっています。五四年に作成した台帳を見直し、現状に合った台帳を整備するためです。

今回の農家基本台帳作成には五四年に作成した各農家が所有している農地を全部書き写した用紙を各農家へお配りいたしました。その内容をよく確認して、現在貸付ている土地、売ってしまった土地、転用した土地等土地利用に変更があった場合には、その旨を用紙右側の備考欄に書き込んでください。

二、お配りした用紙は、必ずお返しください。

用紙は、各地元の地域農政推進員を通じて各農家にお配りしてあります。家族の状況等を記入するものと、各農家の所有農地を書き写したものです。まちがいのないことを確認して記入の上、お返しください。もしお返ししていただきませんと完全な農家基本台帳にならないばかりか、耕作証明等がすぐ出せないなど、皆様に不便をおかけすることになりますので、必ず地域農政推進員を通してお返しください。

税金等にはまったく関係いたしません。

なお不明な点、疑問な点がありましたら、各地域農政推進員または村農業委員会事務局へお問い合せください。

みんなの相談室

農業者年金
後継者は直系卑属に限られる

〔問〕後継者移譲の相手方は直系卑属の一人とされているが、甥や姪は含まれるか、また娘婿（嫁）はどうか。

〔答〕直系卑属とは、子、孫、曽孫などの直系血族をさし、姻族は含まれない。したがって、甥、姪及び娘婿（嫁）のいずれも含まれないが、これらの者が経営移譲者と養子縁組をしている場合には、当該経営移譲者の直系卑属として取り扱い、後継者移譲の相手方となりうる。

作付栽培協定地区 先進地視察研修会開催



さる三月二九日、鮫川村内の作付栽培協定地区一〇地区と地域農業集団事業実施地区七地区の農家三一人が作付栽培協定の先進地研修のため宮城県川崎町腹帯地区を視察しました。この地区は全国農業構造改善協会の農業構造改善優良地区として農林水産大臣賞の授賞に輝いた地区です。

腹帯生産組合は今農村が求めている今日的課題である地域水準の向上、集落機能の再構築、地域コミュニティの活性化を図るなど、新しい時代の農業と村づくりのあり方等の具体的な実践をしているところで、全国各地の注目を浴びている集団です。

この地区は、仙台市に隣接し、標高二六〇～三〇〇mの山間地で、農家数二三戸の小集落で、農用地面積四五・五ヘクタール、うち水田二八・六ヘクタール、一戸当り二ヘクタールの規模で農業を営んでいます。

新農構事業が五四年度に認定され、先ず集団農区総合事業が手がけられ、集落の全員が加入している腹帯生産組合がライスセンター、農産物集出荷施設を導入し、地区内農家二三戸の中から三名のオペレーター（担い手）と二名の農作業推進者を選出し、地区内の水稲、集団転作麦の全部について受委託等が実施されました。

このため担い手農家への集積率七〇%に達しており、中でも農用地利用増進事業による利用権の設定は地区内農地面積の一八パーセントにあたる八・三ヘクタールに及んでいます。

また、水田の汎用化を契機に麦の集団転作はもとより、水稲作業の合理化による余剰労力を利用した新興作物として、りんどう、グラジオラス等の花卉、大根、きゅうり、いんげん等の野菜類を導入することにより、新しい地域農業発展の途を開いています。

これらの水稲作等の合理化、複合経営の導入により、兼業農家は転作の精神的負担から開放され、通勤兼業に従事することができ、また担い手農家は農業経営が安定し、農業収入が増大しました。

このように集落の全員が事業に参加し、各々の施設も一〇〇%利活用され、集落センター、簡易給水施設の導入についても集落の合意形成集落活動の活発化にも大いに寄与しており、農業に対する意欲が高まり、相互信頼感の中から集落の明るさ、活気が戻ってきているところで当村農業発展の指標として大変有意義でありました。

公民館だより

少年ふるさと教室
講話と閉級式

三月二六日、午前九時二〇分から、山村開発センターで、少年ふるさと教室の三月講座が行われました。一年間の活動のまとめとしての講話のあと閉級式をもって、しめくくりとなりました。

講話は福島県立東白川農商高等学校鮫川分校の金沢良二先生が「ふるさとを想う」と題してお話しになりました。

ふるさとの意義からはじまり「人間にとって、ふるさとを知ることは重要なことであり、今、あなたがたは、そのための活動をする大切な時期だ」と話され、少年ふるさと教室の活動内容にふれながら「ふるさとを深く理解するために、ふるさとの自然を知りなさい。歴史を知りなさい。人物を知りなさい」と説き、また県の俳句作家懇話会俳句賞の審査員等をつとめられる先生は「文学にあらわれたふるさと」として鮫川村の人々の作になる俳句や短歌を数多くあげ、それらを通してふるさとをどのようにとらえ、どのように想いを育くんできたかを、わかりやすくお話しになり、大変ユニークで心に残る講話でした。

講話のあい間に受講生（小学生五、六年生）は先生のご指導をうけ、ふるさと鮫川村を想い、その想いを俳句にまとめました。

広畑　森　春美

杉の木は雪がふっても青々と

伏木田　鈴木　亜紀子

雪の中さむさ忘れてかけまわる

官代　前田　裕徳

なつかしき山のけしきや村の人

鍬木田　坂本　希

梅の花きれいに咲いて落ちて行く

後田中　須藤　孝

土の中雪どけ水が虫おこす

宿の入　宗田　早苗

春の花とてもかわいく笑ってる

大塩　大楽　美枝

花たちがゆれてみんなで話してる

（紙面の都合で一部掲載）

村の子どもたちがふるさとの理解をふかめる活動、集団でのさまざまな体験活動をすすめ、積極的に仲間づくりをすすめ、地域社会のひとりであるという自覚と、人間性豊かな心をそだてることをめざして、昨年の六月の開級式から、計画通り九回、一一日（二泊を含む）合計六五時間の活動が終了し、一一時三〇分より閉級式を行いました。

公民館長より受講生三九名全員に終了証が手渡され、村教育長の励ましの言葉、そして来賓の祝辞をいただいて終了しました。

終了者氏名

▽我妻里美（落合）▽石井　順（道少田）▽市川明美（滝ノ下）▽大平　薫（二反田）▽柿沼美紀（道少田）▽岸波悦子（中沢）▽坂本久美子（中沢）▽坂本　希（鍬木田）▽鷲野谷さおり（中沢）▽佐藤勝徳（火打石）▽鈴木亜紀子（伏木田）▽鈴木幸子（馬場）▽鈴木孝宏（新宿）▽鈴木菜穂子（巡ケ作）▽鈴木誠（木戸沢）▽須藤　孝（後田中）▽須藤良枝（新宿）▽関根礼子（新宿）▽宗田幸枝（道少田）▽宗田早苗（宿ノ入）▽大楽美枝（大塩）▽高杉育子（大竹）▽高野治夫（発地岡）▽田子和昭（草牛）▽高坂結城（上）▽高坂祐子（上）▽円谷仁志（中沢）▽橋本みどり（道少田）▽羽田浩幸（内ケ竜）▽藤田貴子（岡田）▽舟木美和子（石の花）▽前田美香（官代）▽前田裕徳（官代）▽森　薫（遠ケ竜）▽森　春美（広畑）▽諸橋孝吉（蔵ノ草）▽矢吹勝彦（蔵ノ草）▽矢吹早織（仁田）▽矢吹美幸（中沢）



お知らせ

社会学級文集「里の春」を布領

鮫川村公民館では、このたび社会学級（高齢者学級）文集「里の春」第一五号を発刊し、大変好評を得ております。

ご希望の方には、無料でお分けしますので次へお申込みください。

（申込先）鮫川村大字赤坂中野字巡ケ作一二八　鮫川村公民館　☎九―二二四七



新郎新婦紹介

三月に山村開発センターで公民館方式の結婚式を挙げ、新しい人生をスタートされたカップルは次のとおりでした。

おめでとうございます。

（新郎　関根　勝士（戸　倉　義美　二男）
（新婦　岡田テルエ（浅川町　亮雄　長女）
（新郎　石井　哲（酒垂　ハツヨ　長男）
（新婦　鈴木　智子（新宿　芳男　長女）
媒妁人　関根　仁様
媒妁人　石田卯子八　フミ様
媒妁人　末子

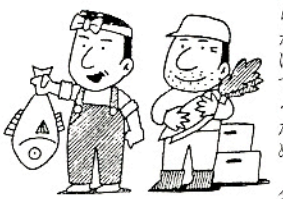


商業統計調査

五月一日現在で実施

通商産業省では、五月一日現在で商業統計調査を実施します。

この調査は〝商業の国勢調査〟ともいわれるもので、わが国の商店の分布状況や販売活動の実態および商品の全国的な流通状況などを明らかにするため、全国の卸売業、小売業を営んでいるすべての商店を対象に行われます。



調査は、県知事から任命された統計調査員が商店を直接訪問し、調査票に記入していただいて回収するという方法で行います。

提出される調査票は、統計法により厳重に秘密が守られますので正確な申告にご協力ください。

国民年金保険料

前納すると割引かれます

国民年金の保険料を前納しませんか。

保険料を前納しますと割引されます。国民年金の保険料は、三か月ごとに納める期限が決められていますが、うっかり忘れますと、「年金が受けられない」ということにもなりかねません。

そのためにも、また、その都度納めるのが面倒だという方は、ぜひ、有利な保険料前納制を利用されることをお勧めします。

前納された場合の保険料額は次のとおりです。

◉定額保険料

七八、九三〇円

◉定額十付加保険料

八二、六一〇円

手数料が改定

四月一日から、住民票、印鑑証明等の手数料が改定になりましたのでお知らせします。

種別	旧	新
住民票	一〇〇円	一五〇円
印鑑証明		
戸籍附票		

おわびと訂正

広報三月号おくやみ欄中、世帯主の穂積英資は星英資の誤りでしたので、おわびして訂正いたします。（戸籍係）

おめでた

二月

菅田　関根　拓也　父関根二男
大竹　岡部　法広　父岡部憲司

三月

青生野　大竹　勇希　父大竹伸克
滝　須藤　康久　父須藤久米夫
本之根　津田　香織　父津田信一
青生野　白坂真菜美　父白坂伸治
〃　加藤　雄輝　父加藤憲治

おくやみ

二月　年齢　世帯主

新宿　水野コト82歳　岩野草
辺栗　生田目政一82歳　生田目旭
懐保　渡邊ハヤ85歳　渡邊一美
官代　前田正男71歳　前田英雄
関口　藤田知威76歳　藤田ミツ子
青生野　須藤シン80歳　須藤芳一

三月

休日の在宅当番医

月日(曜)	当番医院 棚倉町	塙町	矢祭町
4月21日(日)	阿部		慈泉堂
28日(日)	藤田	石川	
29日(月)	勝菅原		木村
5月3日(金)	薄葉木	中島	
5日(日)	大診療所	車本	
6日(月)		根厚生病院	
12日(日)			

ゴミの収集日

収集コース	種別	4月	5月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	18.22.25	2.9.13.16.20 23.27.30
	不燃物	19	17.31
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	18.23 25.30	2.7.9.14.16 21.23.28.30
	不燃物	19	17.31
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	18	2.16.30
越虫～青生野～葉貫～戸草～蔵の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	17	1.15.29
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	—	10
官伏～楢久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	19	17.31

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※　ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

塙セリ市場だより

（60・3・20）

性別	頭数	取引価格 最高	最低	平均	平均体重	平均月令
	頭	千円	千円	千円	千kg	月
雌	115	1,198	76	254	236	9.2
去勢	123	353	172	263	257	8.9
計	238			258	247	9.1

今月の納税　軽自動車税・国民年金保険料(1)　納期限４月25日(木)